

令和5年10月17日亀岡市教育委員会会議録

- 1 開会 午後2時00分
閉会 午後3時10分

2 出席委員

神 先 宏 彰 教育長
北 村 真 也 教育長職務代理者
末 永 礼 子 委 員
出 藏 裕 子 委 員
秋 山 伸 夫 委 員
松 浦 千 弘 委 員

3 欠席委員

なし

4 出席事務局職員

森 岡 浩 之 教育部長
川 口 雅 彦 次長兼総括指導主事
阿比留 綾 教育総務課長
今 西 恵 一 学校教育課長
樋 口 竜 次 社会教育課長
宮 本 かおり 社会教育課人権教育担当課長
岡 田 康 宏 歴史文化財課長兼文化資料館長
岩 崎 盛 雄 学校給食センター所長
小 川 博 久 図書館長
谷 口 正 二 みらい教育リサーチセンター所長
榎 本 祐 輔 教育総務課総務係長

5 傍聴者

なし

6 議事の概要

(1) 開会

○教育長が開会を宣言。

(2) 前回会議録の承認

令和5年9月19日に開催した定例会の会議録を確認し、承認した。

(3) 教育長からの報告

○教育長から以下の報告があった。

◎亀岡市関係

- ・ 石田梅岩先生墓前祭は、今年度生誕地の整備が進められるなかではあるが開催をされ、出席した。
- ・ 亀岡市立幼稚園令和5年度優良 PTA 文部科学省大臣表彰受賞報告を受賞された PTA 関係者と市立幼稚園園長から報告いただいた。コロナ禍にあるなか、地域とともに活動してきた内容が評価された。
- ・ 市議会定例会9月議会が全議案を可決いただき、休会した。
- ・ 令和5年秋の全国交通安全運動に係る街頭啓発活動が市内各所で行われたが、加塚交差点付近で啓発活動にあたった。
- ・ 令和5年度第42回亀岡市小学校児童陸上運動交歓記録会がブロック毎に5・6年生が参加し行われた。4年ぶりの開催となった。
- ・ 口丹波私立幼稚園 PTA 連合会令和5年度陳情・懇談会が行われた。今年度は、各幼稚園から8事項の陳情・要望が行われ、市長及び教育長から回答した。
- ・ 「第30回花づくりコンクール」授賞式がギャラリーかめおかで行われ、教育長賞の交付を行った。
- ・ 令和5年度第2回自治委員会議が開催され、出席した。
- ・ 校長会議を開催し、つつじヶ丘小学校の児童が交通事故にあったことを事例に、日頃から自転車へ乗る際のヘルメット着用の徹底、また、学校に緊急的に依頼のあるドクターヘリのことについて指示をした。
- ・ ALT 辞令交付式を行った。
- ・ 亀岡祭山鉾行事「くじ取り式」が議場において、4年ぶりに開催をされた。
- ・ 今年度初めての学校訪問を行った。今回は、安詳小学校、文化資料館、図書館、大成中学校に出向き、現状と課題等を踏まえつつ、視察した。
- ・ 学校規模適正化、育親中学校ブロック協議会を開催し、前回開催以降の取り組み状況、また、今後の取り組みを踏まえ、委員からご意見を頂戴した。
- ・ 詳徳中学校コスモス贈呈式が例年同様行われた。岡山県の中学校との平和交流事業を契機に詳徳中学校で育てられているコスモスを市長と教育長に届けていただいた。

◎国・府等の関係

- ・ 令和5年度口丹波中学校総合体育大会駅伝競走の部が京丹波町で行われた。

(4) 議 事

議案番号	件 名
第 9 号 議 案	亀岡市立認定こども園条例及び亀岡市立保育所条例の一部を改正する等の条例の原案決定について

○第9号議案について保育課長が議案説明を行った。

第9号議案については、亀岡市立幼稚園の認定こども園への移行に際し、必要となる条例改正であり、併せて行う保育所条例の一部改正については、別院保育所及び保津保育所においても認定こども園とするためのものである。今回は、亀岡市立幼稚園の内容について、審議いただきたいと考えている。主な趣旨については、令和7年4月から幼保連携型のこども園へ移行し、入園者数の確保も図っていくものである。これまでの総合教育会議での意見交換、定例の教育委員会及び教育委員協議会の協議内容を踏まえ、条例の一部改正を提案する。今回、こども園に移行することにより、給食提供が必要となっていくが、この点については、新しく開園する保津こども園に共同の調理場を設け、対応していくこととする。本日、原案決定をいただけるならば、今回の条例改正議案については、次期12月議会に提案したいと考えている。また、併せて施設改修に係る設計業務委託について、補正予算を計上していきたいと考えている。

第9号議案について、原案どおり承認した。

(5) 報告事項

- ①亀岡市高校生まなび応援のための支援金支給要綱の制定について
- ②第41回亀岡市女性集会について
- ③第39回特別展「足利尊氏」の開催について
- ④令和5年度12月教職員研修講座について

○各課長等からの報告を受けて、委員から次の質問・意見があった。

<亀岡市高校生まなび応援のための支援金支給要綱の制定について>

松浦委員 私立の高校であれば、特待生奨学生制度というのがあり、給付金的に支給されている可能性がある。申請手続きのなかで、その辺りが確認できるように、保護者へ記載をしていただくことが必要ではないか。

今西学校教育課長 今年度初めての制度であるため、委員ご指摘のようなことも想定される。申請の際、しっかりと確認をしていくこと、また周知の方法を考えていきたいと思う。

出藏委員 たいへんありがたい制度だと思う。今年度に限らず、継続した取組事業となることを期待する。保護者に一定収入があっても進学を諦めてしまうこともあるかもしれない。そういったことがないように、制度の趣旨も含め、多くの人がこの制度を理解し、申請できるよう周知を図っていただきたい。

今西学校教育課長 保護者がこの制度を知らなかったという形にならないよ

う、周知の方法については考えていきたい。

北村教育長職務代理者 このような制度はあった方がよいと考えている。今回の制度を活用できる対象者数は、市全体でどれぐらい、また、予算ボリューム的にはどれぐらいであるのか。

今西学校教育課長 申請に基づいてということであるため、見込みの人数については現段階での想定は難しいが、市全体として80人程、予算規模としては、1,000万円としている。

北村教育長職務代理者 制度としては、やはり複雑さを感じるので、わかりやすいスキームなどで表現していくことが大事だと感じた。国・府、また、公立・私立の制度が十分にわかっていないと対象の有無が判断しづらいつらいつならないようにしていただきたい。

末 永 委 員 一定の収入があっても、やはり金銭的負担の多い高校生、大学生を抱える家庭にとってはありがたい制度だと考える。いろんな制度ができてきて、金銭的な手当もされるようにはなってきたが、まだまだな部分もあると聞く。そういったなか、今回のこの制度については、よい着眼点を持った制度だと思う。他の自治体の状況はわからないが、またいい形でアピールしていくことも考えていただきたい。

<第39回特別展「足利尊氏」の開催について>

秋 山 委 員 チラシは、誰が作成しているのか。

岡田文化資料館長 チラシについては、文化資料館の学芸員が担当し、作成している。

秋 山 委 員 内容については、非常に興味もあり関心を持って見させていただいているのだが、チラシについては、もう少し工夫が必要と感じた。亀岡市には、広報やデザインに長けた職員もおられると思うので、そういった方に相談してみてもどうか。チラシは、広く文化資料館を他の人に知らせるもののひとつと捉え、アピールしていくことが重要だと思う。

岡田文化資料館長 今後、企画展等も予定しているため、いただいたご意見を基に意識しながら取り組んでいきたい。また、チラシ作成にあたっては、いろんな方の知恵もお借りするなかで進めていきたいと考えている。

(6)閉会

○教育長が閉会を宣言

以 上

○教育長職務代理者

○委 員

○委 員

○委 員

○委 員

○教 育 長

(調整者 教育総務課長)